

番号	上 かみ の句	下 しも の句	作者 さくしや
51	しろくなるわたしのいきとつもるゆき 白くなる私の息と積もる雪	こごえるなかできようもでかける 凍える中で今日も出かける	はるの
52	なぜきみはきもちゆさぶりこのきもち なぜ君は気持ち揺さぶりこの気持ち	いつに好きだときづくのか いつに好きだと気づくのか	小野小町じゃないけど!
53	せいしゅんはそつぎようしきのひがいちばん 青春は卒業式の日が一番	こくはくぶーむさいらいちゅう 告白ブーム再来中	ワンコ大好き!
54	れんあいのほんはよむけどげんじつは 恋愛の本は読むけど現実	いつさいこいをしていないもの 一切恋をしていない者	きなこ
55	せいしゅんのかぜがよびこむはれたごころ 青春の風が呼び込む晴れた午後	あなたとふたりならんで歩く あなたと二人並んで歩く	七瀬
56	つんでれのともだちのこいいやされて ツンデレの友達の恋癒やされて	つきあってるのにえんきよりです 付き合ってるのに遠距離です	ペンネーム大量に使いすぎた
57	とどかないおもいつづけてもきづかれない 届かない思い続けても気付かれない	とものこいびとめをそらそう 友の恋人目を逸らそう	藤式部
58	すきなこのとなりのせきはいまはない 好きな子の隣の席は今が無い	おとなになればいつしよのせきに 大人になればいつしよの籍に	恋心
59	ひそやかにすまほひかればむねなつて ひそやかにすまほひかれば胸鳴って	ことばのうみへきみがとけだす 言葉の海へ君が溶け出す	ユキオ
60	はなびらがあしにまいちるすき・きらい 花びらがあしに舞い散る好き・嫌い	らすとのいちまいかぜにとばされた ラストの一枚風に飛ばされた	ゆうし